

令和8年度 学校教育計画

1 校是「もとたちてす えおさまる本立末治」(根本を把握することによって自ずと末がよくなる)

(大正14年9月矢沢尋常高等小学校新築落成式に新渡戸稲造博士より寄贈されたもの)

矢沢中学校の根本精神

「本立末治」

「堅忍不拔」(どんな困難や誘惑にも心を動かさず耐え抜く)

「一隅を照らす」(今いる場所や立場で全力を尽くすことでなくてはならない人になる)

2 教育目標

これからの社会を創造する知性と活力のある生徒の育成

～支え合い・励まし合い・鍛え合い、共に成長し、世界ぜんたいを幸福にする力を磨く～

3 目指す姿(生徒像・教職員像・学校像)

- (1) 目指す生徒像
 - ①進んで学び、自ら考えて行動する生徒
 - ②強い意志と責任を持ち、協力して充実した生活を送る生徒
 - ③健康な体と豊かな心を持ち、品格のある生徒
- (2) 目指す教職員像
 - ①明るく元気で人間性豊かな教職員
 - ②創造性に富み、実践力のある教職員
 - ③たえず研修に努め、必要な社会性を身につける教職員
- (3) 目指す学校像
 - ①けじめと活気のある学校
 - ②穏やかで温かさのある学校
 - ③信頼と感謝が満ちている学校
 - ④家庭・地域に開かれた学校

4 学校経営方針と経営の重点

本校の生徒が「この学校に入ってよかったと思える学校」を目指し、「一人一人がもっと輝く魅力あふれる矢沢中学校」をキャッチフレーズに、岩手県教育委員会学校教育指導指針並びに花巻市教育振興基本計画を踏まえ、次の点に力を入れて活力ある学校経営を推進する。

- (1) 生徒相互、教職員と生徒の心のふれあいを大切にした教育(支え合い)
個性尊重の原則に立って豊かな心とふれあいのある教室をつくる。また、「生徒指導」と「心の教育」を基盤にし、生徒相互、教職員と生徒の心のふれあいを大切にした教育を心がける。
- (2) 確かな学力の習得と学習環境の整備(励まし合い)
基礎的・基本的内容の定着を図り、確かな学力を習得できる授業を展開する。授業において生徒を中心に据え、互いに学び合うことのできる雰囲気醸成し、学習意欲を高め、心を育てる。
- (3) 困難を克服し自己実現を目指す生徒の育成(鍛え合い)
自己の課題に向き合い、困難を克服して自己実現を目指す生徒の育成に努める。自己を見つめ他者や社会との関わりを考え、切磋琢磨しながら努力する生徒を育てる。
- (4) 矢沢小との連携、家庭・地域との協働(共に成長)
義務教委育学校設立を見据え、矢沢小学校との連携を密にするとともに、保護者・地域と協働した「地域とともにある学校」づくりを推進する。
- (5) 生徒一人一人のウェルビーイングの実現を目指す「そろえる」教育から「伸ばす」教育への転換(世界ぜんたいを幸福にする)
一人一人の生徒を大切にし、生徒が「学んでよかった」「努力してよかった」「誰かの力になれ

た」と思えるような、自己肯定感や自己有用感、自己効力感を育て、これからの人生の礎となるような教育活動を実践していく。

※①今が楽しい【個人・現在】→②これからの将来に希望をもつ【個人・将来への展望】→

③学級や矢沢地域の人々の幸せを願う【社会・共生】→④矢沢中、花巻市、世界を良くしていきたい【利他性・公共・持続】

5 学校経営の具体

(1) 組織・分掌関係

- ① 校務分掌の組織的・機能的運営
- ② 互いを尊重し、支え合いながらチームとして機能する教職員集団
- ③ 服務規律の厳正確保（コンプライアンスの確立、時間厳守、言葉遣いなど）
- ④ 教職員一人一人がキャリア・ライフステージに応じた資質向上を図る研修機会の確保
- ⑤ 超過勤務時間の削減や仕事の効率化を目指した教員の働き方改革の推進
- ⑥ 日々やりがいを感じ、活力のある職場の風土づくり

(2) 教務関係

- ① 地域の実態や今日的な教育課題に対応した創意ある教育課程の編成と推進
 - ア 小・中連携の視点を位置づけた学校行事・教育課程の運営・推進
 - イ 地域の素材（施設、自然、産業、歴史、文化、人材等）を生かした教育活動の展開
 - ウ 適切な教育計画の作成と授業時数の確保
- ② 教科経営
 - ア 確かな学力の育成を目指す授業（「いわての授業づくり3つの視点」は全教科で毎時間）
 - イ 学習規律の確立と基礎的・基本的な知識や技能の定着
 - ウ 授業研究の活性化と個々の授業改善
 - エ 主体的・対話的で深い学びを目指す授業実践・授業改善
- ③ 道德教育
 - ア 道德の授業の充実（教材の吟味、新聞等の活用）
 - イ 情報モラル教育の充実
 - ウ 適切な評価、道徳的実践力を高める授業の工夫
- ④ 特別活動
 - ア 充実感と連帯意識を高める学級活動・生徒会活動と話し合い活動の指導の充実
 - イ 創意工夫をし、感動的な行事づくり
 - ウ ねらいを明確にした活動計画と適切な評価
 - エ 集団生活における望ましい人間関係の育成
- ⑤ 総合的な学習の時間
 - ア 将来の生き方、夢や目標につながるキャリア教育の推進
 - イ 東日本大震災の教訓を風化させない復興教育、いのちを守る防災教育の充実
 - ウ 生きる力を育む体験活動の充実
- ⑥ 図書館教育
 - ア 図書室の整備と快適な読書環境づくり
 - イ 読書活動の推進
 - ウ 新聞の活用による読解力育成（プラス日報の有効活用）
- ⑦ 視聴覚教育
 - ア 掲示教育（掲示物を通じた教育作用）の充実
 - イ 視聴覚機器の効果的な有効活用

⑧ 情報教育

- ア ICT機器の積極的な有効活用
- イ 情報リテラシーと情報モラル教育の充実
- ウ 一人一台端末の積極的な有効活用

⑨ 国際理解教育

- ア 国際的な視点での思考やコミュニケーション能力の育成
- イ 教育活動全体による相互理解の態度の育成

⑩ 環境教育

- ア SDGsの理解と持続可能な社会の実現を目指す態度の育成
- イ 身の回りの環境を整える実践力の育成

⑪ ボランティア・福祉教育

- ア ボランティア活動の推進
- イ 福祉活動の推進（やさわの園と連携した活動等）
- ウ 青少年赤十字の理解と実践

⑫ 特別支援教育

- ア 一人一人の生徒理解と個に応じたきめ細やかな支援
- イ 特別な支援を要する生徒の把握と実態に応じた対応
- ウ 特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制の構築

⑬ 健康教育・食育

- ア 基礎体力・運動能力の向上を目指す合同トレーニング
- イ 食育の推進する食育講演会の実施
- ウ 健康な生活を送るために必要な知識の習得と生活習慣の育成
- エ 感染症予防を含めた望ましい学習環境の整備

(3) 研究関係

- ① 諸調査・テストの分析・活用と生徒のつまずきを生かした授業改善
- ② 家庭学習の習慣化と充実
- ③ 授業研究、互見授業の活性化、授業力向上
- ④ 研修会、会議等の伝講
- ⑤ 研究主題の共通理解と取組実践
- ⑥ NIE（プラス日報）を活用した読解力育成

(4) 生徒指導関係

① 生徒指導

- ア 基本的な生活習慣（あいさつ・言葉遣い・清掃・時間の意識・インターネットやSNS利用の在り方等）の構築
- イ 一人一人の生徒理解と教育的愛情に立脚したきめ細かな生徒指導
- ウ 共通理解、同一步調に立ち組織的に対応する生徒指導
- エ 保護者・家庭・関係機関との連携と家庭環境の把握
- オ いじめが起きにくい・いじめを許さない風土づくり
- カ いじめの早期発見と迅速、適切な組織的対応
- キ 不登校・不適応を増やさないための発達支持的生徒指導の推進
- ク 矢沢小学校との情報共有と相互協力による生徒指導
- ケ 自己肯定感・自己有用感・自己効力感を育てる視点で行う生徒指導

② 生徒会指導

- ア 自治能力を育てる生徒会活動
- イ あいさつなど学校生活を高める活動の仕掛けの工夫
- ウ 縦割り組織を活用した活動の工夫

③ 学級・学年指導

- ア 互いに認め合い、助け合い、高め合う学年（学級）集団づくり
- イ 基本的な生活習慣の確立と秩序のある学年（学級）集団づくり
- ウ 魅力あるリーダーの育成とフォロワー体制づくり
- エ 一人一人の生徒の良さや特性を生かし、秩序と信頼関係のある学級指導

④ 教育相談

- ア 生徒の心に寄り添う、組織的・計画的・継続的・適時的な教育相談
- イ スクールカウンセラーや関係機関との連携
- ウ 生徒理解と様々な問題行動の未然防止に生かす教育相談

⑤ 健康・安全教育

- ア 健康教育の推進（体作り、食育、性教育、薬物乱用防止等）
- イ 管理下内の安全指導と登下校の安全指導
- ウ 安全点検の定例化
- エ 防災意識の高揚（土砂災害、河川氾濫、クマ被害等）

⑥ 部活動指導

- ア 自主性の尊重と規律の確立（あいさつ、マナー、礼儀、チームワーク、人間性）
- イ 外部スポーツ団体加入者や部活動未加入者への柔軟な対応
- ウ 部活動の地域移行に向けた取組
- エ 「岩手モデル」の遵守による不適切な指導の根絶

(5) 学校管理関係

① 事務経理

- ア チェック体制（文書保存、提出書類状況、金銭出納関係等）の確立
- イ 報告文書の期日の厳守、担当者との連携
- ウ 適正な経理事務
- エ 文書の正確な収受処理

② 管理営繕

- ア 日常からの環境美化（清掃、掲示、教室、花壇、グラウンド等）
- イ 生徒の個人情報管理の徹底
- ウ 施設設備の管理（安全点検、施設管理営繕、水道凍結防止、火災予防）
- エ 資源、エネルギー（節約、節電、リサイクル、ゴミ処理）と環境教育への連動

(6) 家庭・地域・小学校との連携

- ① 学校評価を生かした学校経営の推進
- ② 学校運営協議会を核とした地域とともにある学校づくりの推進
- ③ 「矢沢小・中コネクトプロジェクト」による小中連携の強化
- ④ 地域コーディネーターの積極的活用
- ⑤ 矢沢地域の文化施設の活用や福祉施設等と連携した特色ある学びの創造